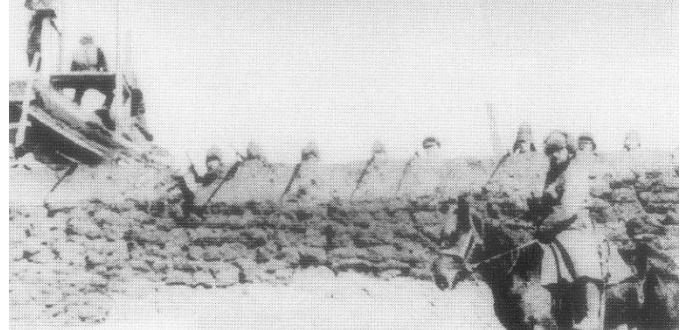


# 土竜山事件とは

第1次弥栄(いやさか)、第2次千振(ちぶり)の入植用地買い上げ交渉が、関東軍と原住民との間に行われましたが、その方法に不満を持った原住民たちが、弥栄・千振開拓団を奪い返そうと、1934年(昭和9)2月下旬頃から、依蘭(いらん)県第3区八虎力の保長であった謝文東(しゃぶんとう)を指導者として土竜山一帯の農民が結束し、3月8日には2000人余の農民が武装暴動を起こしました。翌9日には日本警察署を襲撃して占領し、十数人の警官を射殺しました。この土竜山事件を契機に、蜂起した謝文東や大刀会・紅槍会の農民自衛団があいついで永豊鎮・湖南營の入植地をおそい、日本移民団に重大な損害をあたえました。5月1日には、千振開拓団を約3000人の原住民が包囲しました。5月末、関東軍は佳木斯から軍隊を増強して謝文東の勢力への徹底した報復のせん滅攻撃に出ました。わずか10時間で非戦闘員440人余を殺害し、200軒の家を焼き、ある村では全住民が殺されました。

## 中国の農民が日本千振開拓団村を襲った 土竜山事件の現場



(写真は『写説満州』(太平洋戦争研究会編) ビジネス社より)

## 日本人が「匪賊」と呼ぶ「抗日ゲリラ」



## 日本軍の攻撃に応戦する抗日ゲリラ



(写真は『写真記録日中戦争2』ほるぷ出版より)



討伐による家を  
壊され、財産を奪  
われ、途方にくれ  
る中国人農婦



両親を日本軍に殺され  
た兄弟

(写真は『写真記録日中戦争2』ほるぷ出版より)

関連ホームページ

フリー百科事典『ウィキペディア

(Wikipedia)』土竜山事件

<https://ja.wikipedia.org/wiki/土竜山事件>

